

7
ブロック

揖屋小学校

揖夜神社穂掛祭

毎年8月28日は揖屋っ子みんなが楽しみにしている「揖夜神社穂掛祭」です。今年は台風10号が接近していることもあり開催が危ぶまれましたが、みんなの想いが届き、無事に開催となりました。空には虹がかり、幸せな気持ちになりました。

昼から子ども達は地区ごとの船に飾り付けを施し、みんながお祭りを楽しみにしていました。夕方になりみんなが地区ごとに船で出発をします。子ども達の笛の音が「今年もまつりがはじまるな・・・」と感じさせてくれます。穂掛祭のしやぎりは格別です。

十数台の装飾された船、太鼓や笛の音色、そしてみんなの話す声や笑い声に包まれ、ますます熱気溢れる「揖夜神社穂掛祭」でした。(野津拓馬)



8
ブロック

本庄中学校

復活！枕木強歩大会+美化活動

本庄中学校には、枕木強歩大会という伝統行事があります。本庄地区にある枕木山の麓から山頂付近までの6.4キロを全校生徒が元気よく駆け上がります。

近年は、新型コロナウイルス感染症、大雨による土砂崩れの影響により中止となっていたましたが、PTA厚生部やたくさんの地域の方の協力のもと、3年ぶりの開催となりました。

強歩大会というだけあって、上り坂しかないこのコースはとにかくつらい！2、3年生も初めての挑戦でしたが、友達同士で励まし合い、また沿道からの応援を力に、見事に全員が完走しました。ゴール後に山頂から見えるふるさとの景色は格別だったと思います。

帰りは、地域への感謝を込めて美化活動をしながら下山しました。

苦しいときもあったと思いますが、それを乗り越えた先にある達成感や本庄地域の皆さんに大事にされていることを実感できた大会になりました。(岩見佳奈子)



市P連情報発信

松江市PTA連合会ホームページ
最新の「お知らせ」や「過去のきらりまつえ」をご覧ください。
<http://www.matsueshi-pta.gr.jp/>



松江市PTA連合会総会開催

5月25日(土)、八雲アルパホールにて松江市PTA連合会総会を開催しました。総会は各校のPTA代表の皆様が参加され、前年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画、予算の承認をいただきました。また、PTA活動に対する長年の功績を称え表彰式を行いました。今年度は、出雲かんべの里館長 錦織明氏をお招きし、「紙芝居で伝える小泉八雲の世界」を演題に講演いただき、自転車紙芝居と水あめの配布で、昭和のノスタルジックに浸りました。会長からは「子ども達のためになるPTA活動をという気持ちを広げ繋げていって欲しいと願っています。また松江市PTA連合会では、大人も学ぶ場である組織・PTA活動の大切さ、楽しさを気付いている人がそれを伝えていく組織でありたいと思っています。」と挨拶がありました。(総務委員長/河野敦)



受賞者並びに本年度の執行部は以下の通りです。

松江市PTA連合会表彰(感謝状)
平井 良則様(前第一中学校PTA会長)
雨川 益男様(元川津小学校PTA会長)
名目良明利様(元第三中学校PTA会長)

令和6年度松江市PTA連合会執行部

会長 福島喜美子(第三中)
副会長 松尾 康博(生馬小)
副会長 田城 敏史(附属後期)
副会長 原田 岳志(穴道中)
副会長 塚谷 裕正(東出雲中)
総務委員長 河野 敦(本庄中)
研修委員長 大屋 数晃(持田小)
会報委員長 安達 洋平(佐太小)

島根県PTA連合会家庭教育委員会・松江市PTA連合会 合同研修会開催のご案内

人気マンガ「ドラゴン桜」の指南役としても著名な教育評論家 親野智可等氏によるコロナ禍明けの子育てや家庭教育について講演していただきます。家族と笑顔で過ごす時間を増やすため、楽しみながら子どもの人間力、生きる力、学ぶ力を伸ばす子育てのヒントを学びましょう。

日時：12月14日(土)13:30~15:30(13:00開場) 会場：くにびきメッセ3F 国際会議場
演題：叱らなくても子どもは伸びる!!

『親子関係がよくなり学力も上がるっておきの方法とは?』
~勉強・学力向上・ゲーム・スマホ・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育~
(研修委員長/大屋数晃)



島根県PTA連合研修大会仁多大会に参加して



実践発表では、布勢幼小中連合PTAが50年続く活動報告をされ、統廃合により岐路に立つ中、この地に子ども達がいる限り、前向きな取組を続けることが力強く宣言されました。

関西大学若槻健教授の記念講演では、「多様な『つながり』が育む子どもの未来と地域の未来に」をテーマに、人権教育が地域課題の解決に寄与し、多様な教育活動が可能となる事が語られました。さらに、社会貢献が自尊感情を育み、そのためには、力を発揮する環境整備の重要性が強調されました。最後に「であい・ふれあい・げんき」を掲げられ、大会を通して、子どもと大人が共に育つことの大切さを再確認しました。(副会長/田城敏史)

- 令和6年度会報委員 (84号担当) (敬称略、○は所属ブロック)
- ① 岳川めぐみ(内中原小)
 - ② 野津武志(第二中)
 - ③ 梶野 透(中央小)
 - ④ 三島 明(津田小)
 - ⑤ 石川芳廣(玉湯学園)
 - ⑥ 安達洋平(佐太小)委員長
 - ⑦ 野津拓馬(揖屋小)
 - ⑧ 岩見佳奈子(本庄中)
 - 幹事 鶴岡 健(佐太小)
 - 副会長 田城敏史(附属後期)



INDEX vol.84

- page 2~5.....PTA活動紹介「ふるさと教育」
- page 6.....市P連情報発信

記事掲載校

- 1ブロック：内中原小学校
- 2ブロック：第二中学校
- 3ブロック：中央小学校
- 4ブロック：津田小学校
- 5ブロック：玉湯学園
- 6ブロック：佐太小学校
- 7ブロック：揖屋小学校
- 8ブロック：本庄中学校

あふれる笑顔と明日を担う力



中央小学校



津田小学校



佐太小学校



玉湯学園



本庄中学校



揖屋小学校



内中原小学校



第二中学校

1 ブロック

内中原小学校

繋がる輪 広がる輪

内中原小学校では年10回、4～6年生を対象としたクラブ活動の中で様々な体験活動が行われています。その中の一つ「アートクラブ」では、地域ボランティアの方に講師をお願いし活動しています。この日は「アートクラブ」約20名の児童が「オリジナルリンググライダー」を製作しました。

「オリジナルリンググライダー」とは、テープ状の工作紙で大小2つのリングの羽をつくり、ストローに固定して飛ばすおもちゃです。短い時間でしたが、講師の方に丁寧に指導いただき、交流を楽しみながら完成した思い思いの個性豊かなグライダーをはしゃぎながら飛ばして遊んでいました。今度は何をつくるんだろう？と次回が待ちきれない様子の子ども達。

こうした体験活動を通して、地域の人との繋がりを大切にし、絆を育む素晴らしい機会を持つことができていると考えます。

この他にも、内中原小学校はたくさんの地域ボランティアの方々に支えられています。互いに気持ちのいい関わりをもちながら、地域で子ども達を見守っていただく体制がより大きな輪になっていくことを願います。

(品川めぐみ)



真剣に取り組む子ども達



さっそく飛ばしてみよう！



個性あふれるグライダーができました

3 ブロック

中央小学校

天神市への挑戦！地域と共に成長する中央小3年生

中央小3年生は、天神町商店街で開催される「天神市」に毎年参加しています。この活動を通して天神市の歴史や商店街の活動を学び、地域の人々の思いや願いを感じ、自分達に何ができるのかを考えることを目的としています。しっかりと事前学習・準備をした上で、本番当日はグループに分かれてお店のお手伝いや広場での出店、ステージでのダンス発表を行いました。インタビュー活動も実施して地域の方々と交流を深めることもできました。この活動を通じて、子ども達は地域の一員としての自覚と、自分の仕事に責任を持つ大切さを学びました。これからも地域と共に成長し、たくさんのことを学んでいく中央っ子であってほしいと思います。

(梶野 透)



5 ブロック

玉湯学園

復活！たまゆ文化祭 輝く9年生

玉湯伝統の文化祭が10月26日、27日の2日間開催されました。

たまゆ文化祭は、玉湯学園9年生がたこ焼き、焼きそば、ポテトフライなどの模擬店を開店し、地域の方々や保護者の運営サポートのもと、2日間ボランティア活動を行います。

コロナ禍の中止を経て一昨年復活し、以前のような活気を取り戻しました。

子ども達の明るくいいきとした接客に、地域の方々に大盛況のイベントとなっています。がんばる9年生の姿をみて8年生は「来年は自分達がやるんだ」という意識を高めて最上級生へと成長していきます。1年生から7年生は憧れの眼差しで9年生を見つめています。

学校、地域、保護者と一体となったこの文化祭が長く続くことを願っています。

(石川芳廣)



2 ブロック

第二中学校

川津ふるさと夏まつり

8月24日(土)に「第15回川津ふるさと夏まつり」が開催されました。延べ3500人の方が不安定な空模様の中、足を運んでくださいました。学校・地域とのふれあいの中、たくさんのイベントや模擬店などで暑さを忘れるくらい賑わっていました。ステージイベントでは松江二中吹奏楽部のすばらしい演奏、生徒ボランティアの皆さんは「子どものあそびコーナー」で子ども達と触れ合いながら「わなげ、ストラックアウト、スーパーボールすくい」など一緒になって賑わいました。最後の方では、景品も無くなり終わりにするところでしたが、「まだやりたい」とお願いすることも達に時間が許さざり一緒になって遊んだ笑顔のたえない夏祭りでした。

(野津武志)



4 ブロック

津田小学校

津田っ子の願い、天までとどけ

津田の風物詩となっている七夕集会在、今年も7月5日に開催されました。まず体育館で、子ども達は、なかよし班ごとに準備していただいた竹に、持ち寄った願い事の短冊をていねいに結びつけました。大人の手も借りながら、いろいろな飾りを竹につけました。

竹は地域の方々が早朝より津田の山から切り出してくださったものです。飾りも数日前から地域の皆さんが手づくりしてくださったものです。みんなの思いと願いが詰まった七夕飾りです。体育館に立ち並んだ七夕飾りのアーチの中を子ども達は満面の笑顔で歩きました。最後に、その七夕飾りを津田小学校前の通称“七夕通り”に飾りました。今では、津田の誇れる美しい景色です。(三島 明)



6 ブロック

佐太小学校

川から海へ大航海 in 鹿島

毎年、佐陀川を舞台に開催されているいかだ下りに、佐太小学校はふるさと教育(親子活動)の一貫として参加をしています。鹿島マリーナを出航し、神名火大橋をめざします。事前に授業で清原太兵衛や佐陀川について調べたり、鹿島町内3校の小学校の児童、保護者が集まって合同で自分達が乗るいかだの補修作業を行います。

天候や風向き等によっては、追い風でスピードが出たり、向かい風で思うように進まなかったり大変な年もありますが、地域の皆様の応援を受けながら一生懸命ゴールをめざします。

実行委員やボランティアの皆様のご協力のおかげもあり、参加した子ども達や保護者にとって、とてもよい思い出となっていると思います。地域特有の活動を通じて、ふるさとへの愛着心やふるさとの良さの発見に繋がっています。(安達洋平)

